

理研X線自由電子レーザー施設SACLA供用開始記念式典にて感謝状受領

2月6日、(独)理化学研究所(理研)と(財)高輝度光科学研究センターの主催にて、理研播磨研究所に建設された国家基幹技術 X線自由電子レーザー施設「SACLA (=SPring-8 Angstrom Compact Free Electron Laser)」の供用開始記念式典が開催され、当社より大宮社長、長島事業部長、遠藤 関西支社長ほか関係者が出席しました。



▲感謝状授与後の野依理事長と大宮社長
(写真提供：理化学研究所)



▲感謝状

SACLAは、X線領域での高品質レーザーを実現した装置で、波長0.8オングストローム(オングストローム=100億分の1メートル)という世界最短波長記録を達成しています。

当日は式典に先立って装置見学会も開催され、大宮社長は当社が製作・納入した全長400メートルのCバンド加速器のほか、X線レーザーを発生するアンジュレータや利用実験ステーションなどの主要機器を興味深く視察されました。

式典では、ノーベル化学賞受賞者である理研の野依理事長から、施設建設に携わった300社以上の企業の代表として大宮社長へ感謝状が授与されました。社長からは「施設建設に関与できたことは光栄であり、企業としてもものづくりの技術を磨くことができました。今後SACLAから輝かしい研究成果が多数生み出されることを祈念します。」とご挨拶されました。

SACLAは、創薬・環境・電子材料・エネルギーをはじめとする幅広い科学技術分野における原子レベルの構造解明ツールとして、3月から本格稼働の予定です。
(機宮 山崎 守雄)